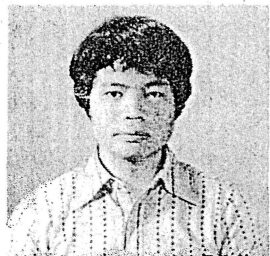


1983年 5月30日発行 4号

《新派遣ワーカー紹介》

中村 哲医師・尚子夫人

(1984年5月より、パキスタン派遣予定)



九大医学部出身，現在福岡徳州会病院勤務。1983年4月10日開催の理事会においてパキスタン教会ベシャワール教区医療事業委員会所属のベシャワール・ミッション・ホスピタルへ派遣と正式決定。目下赴任前研修に入っている。

既に2回にわたって個人的にベシャワールの現地を訪問して実情視察，理事会も長崎太郎理事を現地に派遣して協力内容についての話を進めているが，ベシャワール・ミッション病院長アンワール・ウジャガー医師の要望により中村医師はハンセン病，結核について特別研修をみとめ，ハンセン病については5月下旬より国立療養所邑久光明園において，結核については6月下旬より東京清瀬の結核研究所において研修。

10月はじめよりは家族と共にロンドンのAbbey missionary School of English Languageにおいて宣教師訓練と英語学習。さらに1984年1月からはリバプール大学の熱帯医学研究所において熱帯医学研修を受ける予定。

日本バプテスト連盟香丘教会の会員であるが，教会をあげて祈りの支援体制も整いつつある。

尚子夫人も看護婦資格をもっているが，2才の女兒と3ヶ月前に生まれた男の赤ちゃんの養育に大変な時期である。

祈って頂きたいこと。

- 必修な医学研修，英語，ウルドゥ語の学習がよく進むように
- 幼児二人と若いご夫婦の家庭が，良き信仰の家庭として神に捧げられるように
- 他のJOCS 海外ワーカーとの交りが深められ，またJOCS 会員全体の祈りに支えられて，新しい仕事が始められるように